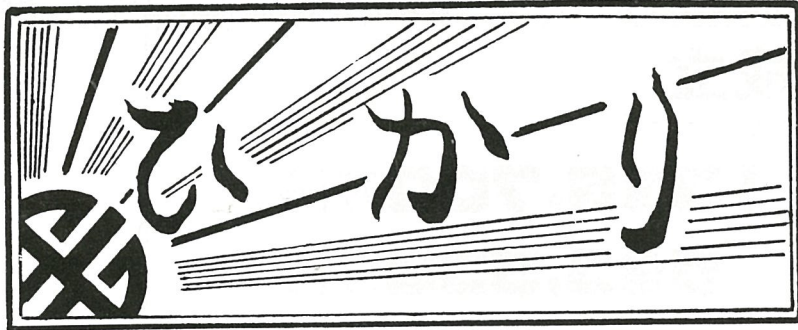




光町民憲章

- 一、老人を敬い、子供を導き、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、体力づくりに励み、長生きの町をつくりましょう。
- 一、自然を愛し、美しい郷土を築きましょう。
- 一、教養を高め、互いに規律を守りましょう。
- 一、公共福祉を尊重し、明るい町をつくりましょう。

発行所 光 町 役 場 電話 (04798) 4 - 1 2 1 1 (代)

春の全国交通安全運動

四月六日～四月十五日



チリーっ

拾う心の美しさ

昭和53年度予算成立

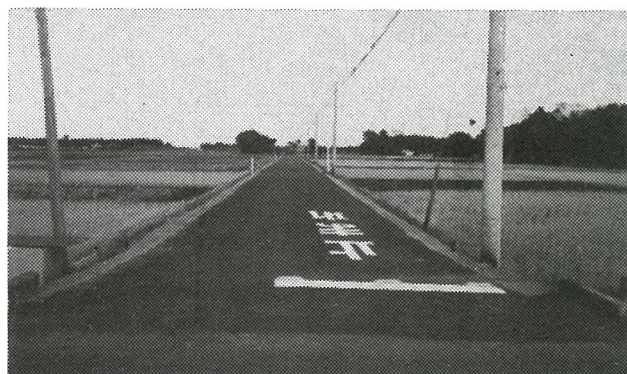
一般会計 13億6,700万円

三特別会計 5億3,530万円

歳入

(単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 町 税	220,012	16.1	183,451	18.6	36,561	19.9
2 地 方 譲 与 税	27,000	2.0	26,000	2.6	1,000	3.8
3 自動車取得税交付金	23,000	1.7	22,000	2.2	1,000	4.5
4 地 方 交 付 税	570,000	41.7	500,000	50.6	70,000	14.0
5 交通安全対策 特別交付金	1,100	0.1	750	0.1	350	46.7
6 分担金及び負担金	17,943	1.3	23,159	2.4	△ 5,216	△22.5
7 使用料及び手数料	7,288	0.5	6,483	0.7	805	12.4
8 国庫支出金	157,323	11.5	96,526	9.8	60,797	63.0
9 県 支 出 金	42,728	3.1	39,185	4.0	3,543	9.0
10 財 産 収 入	7,204	0.5	7,406	0.7	△ 202	△ 2.7
11 寄 付 金	7,887	0.6	8,201	0.8	△ 314	△3.8
12 繰 入 金	95,000	7.0	57,000	5.8	38,000	66.7
13 繰 越 金	20,000	1.5	10,000	1.0	10,000	100.0
14 諸 収 入	11,515	0.8	7,339	0.7	4,176	56.9
15 町 債	159,000	11.6			159,000	皆増
合 計	1,367,000	100.0	987,500	100.0	379,590	38.4



着々と進む道路舗装 (52年度完成・宮内～谷中線)

一般会計

建設事業へ重点配分

昭和五十三年度光町一般会計予算、三特別会計予算は、三月十一日の定例町議会に於て原案通り議決成立しました。

一般会計予算は不安定な経済下においてもゆるぐことのない財政基盤の確立をはかることを基調としつつ積極的な予算を編成した。

主な施策は、教育、社会福祉の充実強化、産業の振興を大きな柱とし、生活関連道路の整備、町民体育館、学校給食センターの建設、村ぐるみ農業の推進等、大規模な建設投資を行う。

一方、障害児保育や、児童措置費助成事業を新規に計上するとともに、町史編さん事業等の文化的事業も積極的な計上が図られています。

これら財源確保のため、需用費等の消費的経費を厳しく洗いなおし、町税、地方交付税等の一般財源を積極計上し、効率的な配分をしたものであります。

道路舗装及び改良事業計画

路 線 名	事 業 の 概 要		
(舗装工事)	延長	巾	概 要
二又・市野原線	1,040m	4.5m	(二又～宝米)
篠本・下橋線	500	3.5	(篠本一区～二区)
橋場・古屋線	600	4.0	(橋場～古屋)
五ノ神線	900	4.0	(五ノ神)
谷中線	700	4.0	(谷中)
小田部線	525	3.5	(小田部)
白磯線	500	4.0	(白磯)
木戸線	350	4.0	(木戸)
白浜小学校前	800	4.0	(木戸～関)
和田線	600	3.0	(篠本二区)
入・古屋線	700	3.5	(入～古屋)
(舗装工事)	延長		
11路線	7,215m		
(改良工事)	延長		
関・白磯線	1,100m	4.5m	(関～白磯)

性質別経費の状況（一般会計）

（単位千円）

歳 出

（単位千円）

性 質 別	昭 和 53 年 度		昭 和 52 年 度		比 較		
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率	増 減 寄与率
1 人 件 費	307,451	22.5	278,003	28.2	29,448	10.6	7.8
2 扶 助 費	135,692	9.9	126,799	12.8	8,893	7.0	2.3
3 公 債 費	54,375	4.0	47,227	4.8	7,148	15.1	1.9
1～3 （義務的経費）	(497,518)	(36.4)	(452,029)	(45.8)	(45,489)	(10.1)	(12.0)
4 物 件 費	68,977	5.0	60,040	6.1	8,937	14.9	2.4
5 維持補修費	12,800	0.9	17,551	1.8	△ 4,751	△27.1	△ 1.3
6 補助費等	323,344	23.7	305,421	30.9	17,923	5.9	4.7
1～6 （経常的経費）	(902,639)	(66.0)	(835,041)	(84.6)	(67,598)	(8.1)	(17.8)
7 積 立 金			6,000	0.6	△ 6,000	皆減	△ 1.6
8 投資及び出資金	230		160		70	43.8	
9 建設事業費	450,913	33.0	134,183	13.6	316,730	235.7	83.4
10 災害復旧費	217		115		102	88.9	
11 失業対策費	1		1				
9～11 （投資的経費）	(451,131)	(33.0)	(134,299)	(13.6)	(316,832)	(235.5)	(83.4)
12 繰 出 金							
13 予 備 費	13,000	1.0	12,000	1.2	1,000	12.5	0.4
総 計	1,367,000	100.0	987,500	100.0	379,500	38.4	100.0

款	昭 和 53 年 度		昭 和 52 年 度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議 会 費	40,134	2.9	35,305	3.6	4,829	13.7
2 総 務 費	224,157	16.4	210,690	21.3	13,467	6.4
3 民 生 費	190,410	13.9	169,362	17.2	21,048	12.4
4 衛 生 費	118,906	8.6	109,531	11.1	9,375	8.6
5 労 働 費	1		1			
6 農林水産業費	70,561	5.2	55,169	5.6	15,392	27.9
7 商 工 費	6,480	0.5	3,880	0.4	2,600	67.0
8 土 木 費	147,780	10.8	141,426	14.3	6,354	4.5
9 消 防 費	72,756	5.3	62,564	6.3	10,192	16.3
10 教 育 費	427,242	31.3	139,162	14.1	288,080	207.0
11 災 害 復 旧 費	217		115		102	88.7
12 公 債 費	54,375	4.0	47,227	4.8	7,148	15.1
13 諸 支 出 金	981	0.1	1,068	0.1	△ 87	△8.1
14 予 備 費	13,000	1.0	12,000	1.2	1,000	8.3
合 計	1,367,000	100.0	987,500	100.0	379,500	38.4

一部事務組合負担金の状況

（単位千円）

組 合 名	昭 和 53 年 度 負担予定額	昭 和 53 年 度 予算計上額	計 上 留 保	昭 和 52 年 度 負 担 額	比 較		備 考
					差 引	増 減 率	
1 広域市町村圏	11,791	11,791		9,389	2,402	25.6	
一般分	2,874	2,874		2,629	245	9.3	
電算分	8,917	8,917		6,760	2,157	31.9	
2 東陽病院	34,660	31,124	3,536	51,022	△ 16,362	△ 32.1	
経常分	1,938	1,938		2,042	△ 104	△ 5.1	
建設改良	12,403	12,403		9,513	2,890	30.4	
伝染病棟	1,783	1,783		1,622	161	9.9	
赤字補てん分	18,536	15,000	3,536	37,845	△ 19,309	△ 51.0	
3 八匠水道企業団	27,050	27,050		27,110	△ 60	△ 0.2	
出資金	770	770		2,510	△ 1,740	△ 69.3	
消火栓	1,280	1,280		2,100	△ 820	△ 39.0	
責任水量分	25,000	25,000		22,500	2,500	11.1	
4 環境衛生組合	19,326	19,326		14,081	5,245	37.2	
5 東総衛生組合	5,600	5,600		5,104	496	9.7	
6 一市三町消防組合	46,929	46,929		42,387	4,542	10.7	
総 計	145,356	141,820	3,536	149,093	△ 3,737	△ 2.5	
八匠教育委員会	135,916	135,916		134,994	922	0.7	

国民健康保険特別会計

歳 入 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 国民健康保険税	143,756	36.3	137,183	37.5	6,573	4.8
2. 一 部 負 担 金	2		2			
3 使用料及び手数料	1		1			
4. 国 庫 支 出 金	222,462	56.2	201,817	55.2	20,645	10.2
5. 県 支 出 金	64		285		△ 221	△77.5
6. 財 産 収 入	4,275	1.1	3,250	0.9	1,025	31.5
7. 繰 入 金	2		2			
8. 繰 越 金	24,900	6.3	22,000	6.0	2,900	13.2
9. 諸 収 入	538	0.1	1,460	0.4	△ 922	△63.2
歳 入 合 計	396,000	100.0	366,000	100.0	30,000	8.2

歳 出 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 総 務 費	18,106	4.6	18,429	5.0	△ 323	△ 1.8
2. 保 険 給 付 費	366,000	92.4	334,778	91.5	31,222	9.3
3. 保 健 施 設 費	3,516	0.9	4,509	1.2	△ 993	△22.0
4. 基 金 積 立 金	4,275	1.1	3,250	0.9	1,025	31.5
5. 公 債 費	2		2			
6. 諸 支 出 金	101		32		69	215.6
7. 予 備 費	4,000	1.0	5,000	1.4	△1,000	△20.0
歳 出 合 計	396,000	100.0	366,000	100.0	30,000	8.2

有線放送特別会計

歳 入 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 事 業 収 入	20,053	97.4	19,613	97.8	440	2.2
2. 分担金及び負担金	2		2			
3. 県 支 出 金	126	0.6	117	0.6	9	9.7
4. 繰 入 金	1		1			
5. 繰 越 金	100	0.5	125	0.6	△ 25	△20.0
6. 諸 収 入	318	1.5	212	1.0	106	50.0
歳 入 合 計	20,600	100.0	20,070	100.0	530	2.6

歳 出 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 総 務 費	14,696	71.3	13,796	68.8	900	6.5
2. 施 設 整 備 費	3,191	15.5	1,491	7.4	1,700	114.0
3. 積 立 金	2,300	11.2			2,300	皆増
公 債 費			4,220	21.0	△4,220	皆減
4. 予 備 費	413	2.0	563	2.8	△ 150	△26.6
歳 出 合 計	20,600	100.0	20,070	100.0	530	2.6

◎国民健康保険特別会計
 予算規模は、前年当初と比較して八・二％の増加であります。増加の主な要因は五十三年二月一日より医療費が平均九・六％値上げされたことにより、療養給付費が増加したことによるものです。保険税については、最高限度額が若干引き上げられますが、税率は据え置きます。尚、保健施設設置費については、年度途中で一般会計へ編成替えをいたします。

◎食肉センター特別会計

施設整備は終了しており、予算規模は前年なみであります。



◎有線放送特別会計
 今年度も、経常的経費を極力抑えつつ、一般会計へ三千万円の繰出をいたします。
 公債費の償還が五十二年度ですべて終了したことにより、54年度からの施設改修に備え、新に二百三十万円の積立をいたします。いずれにしても、五十三年度は突発的な維持補修がおきないかぎり、独立採算が図れる見込みであります。

食肉センター特別会計

歳入 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 事 業 収 入	105,580	89.0	103,380	89.4	2,200	2.1
2. 繰 越 金	10,000	8.4	10,000	8.6		
3. 財 産 収 入	2,180	1.8	1,400	1.2	780	55.7
4. 諸 収 入	940	9.8	920	0.8	20	2.2
5. 繰 入 金						
歳入合計	118,700	100.0	115,700	100.0	3,000	2.6

歳 出 (単位千円)

款	昭和53年度		昭和52年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	率
1. 総 務 費	46,132	38.8	42,918	37.1	3,214	7.5
2. 施設管理費	26,671	22.5	26,885	23.3	△ 214	△0.8
3. 公 債 費	8,897	7.5	8,897	7.7		
4. 諸支出金	30,000	25.3	30,000	25.9		
5. 積 立 金	5,000	4.2	5,000	4.3		
6. 予 備 費	2,000	1.7	2,000	1.7		
歳出合計	118,700	100.0	115,700	100.0	3,000	2.6

八日市場警察署に

高山署長就任



高山 義久氏

住民にプラスになることは、まず実行し、すぐやる警察として仕事を進めて行きたいと考えております。

このたびの警察異動で、八日市場警察署長を命ぜられましたので、前任者の椎名署長同様よろしくご指導、ご協力をお願いします。

この匠瑤地域は、その昔、良質の麻がとれたところから、その地名が出たと言われていますように、自然の環境に恵まれ東総の文化経済の中心地として栄え、現在に至ったと聞いておりますが、このよう

なところに、着任できたことを大変光栄に思っており、私の第二の故郷とも考えておりますので地域住民の皆さんの理解と協力を得て、

~~~~~

うないたましい事故を追放するため、飲酒運転、スピードの出すぎ、無免許運転等、悪質な違反の徹底的取締り、適正な交通規制の実施、交通安全教育、街頭における交通指導等を安全協会や、安全運転管理者協議会等の方々と、緊密な連携をとりながら、地域ぐるみにより、活動を進めたいと考えております。

このような活動は、皆さんと警察署員が一体となり、各種座談会を利用し、意見交換を行いながら、親しまれ頼りになる警察として、明るい郷土づくりに、専念いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 光中優勝成る

小学生の部  
日吉小Aも

第8回青少年剣道大会が、二月十九日、光町武道館で開かれました。大会参加チ

ームは、近隣市町の学校で、小学校十一チーム、中学校十一チーム、高校七チームが出場し、熱戦を展開し、団体戦小学校の部で、日吉

○団体、小学校の部  
優勝 光町日吉小Aチーム  
二位 光町南条小Aチーム  
三位 八日市場Aチーム  
三位 野栄剣友会Aチーム

### 中学校の部

優勝 光町光中学校  
二位 飯岡中学校  
三位 松尾中学校  
三位 横芝中学校  
高校の部

優勝 成東高校  
二位 匠瑤高校  
三位 山武農高  
三位 多古農高

### 個人の部

○個人、小学校の部  
優勝 吉原 幸光(銚子本城陸会)  
二位 鈴木 照充(日吉小)  
三位 森 能隆(八日市場)  
三位 小西 邦男(八日市場)

### 中学校の部

優勝 鈴木 充(松尾中)  
二位 石川 泰計(光中)  
三位 伊藤 和也(飯岡中)  
三位 安孫子幸男(松尾中)  
高校の部

優勝 行方 広行(山武農高)  
二位 佐保 隆司(匠瑤高)  
三位 伊藤 元雄(匠瑤高)  
三位 鈴木 啓之(多古高)

## 知識よりも 実行

### 胃の集団検診を受けよう

町では、みなさんの健康を守るため例年どおり、胃の集団検診を無料で行います。  
希望者は、四月一日より各部落へ、回覧をいたしますのでお申込みください。

受付期間  
四月一日～五月八日まで  
検診日  
五月二十四日～六月一日まで  
検診場所  
日吉小、南条支所、光町役場、農村協同館、白浜小

くわしいことは、厚生課衛生係までおたずねください。  
有線 二〇四一〇二

## 保健所だより

八日市場保健所では、毎週健康相談日を設け、みなさんの日頃の健康に注意しています。業務内容は次のとおりですので、ご利用ください。

一般成人健康相談

毎週水曜日 午前九時～十一時

乳幼児健康相談

毎週金曜日 午前九時～十一時

一般水質、腸内細菌検査

毎週水曜日 午前九時～十一時

栄養相談

毎週水・金曜日 午前九時～十二時

肢体不自由児療育相談

第三水曜日 午後一時～二時

妊産婦健康診断母親学級

第三・四水曜日 午後一時

精神衛生相談

第二・四金曜日 午後二時

### 原付免許試験日が変わります

原動機付自転車の試験及び、講習会は、四月から次のとおりに変更になります。

○試験日

日時 毎月第三水曜日 午前九時

場所 八日市場警察署会議室

○受験のための講習会

日時 毎月第三火曜日 午後一時

場所 八日市場警察署会議室

くわしくは、本署交通課、または各駐在所におたずねください。  
電話〇四七九七(二)一三〇五

# い町づくりを

## 年計画策定される

### 4つの柱を重点目標に

- 一、地域産業の振興
- 二、社会福祉の拡充と生活環境の整備
- 三、教育文化の振興
- 四、公共施設の整備

### 一、地域産業の振興

安定した農業経営、活力ある商店街の形成、自然を活かした観光の開発、公害のない工業の振興とを結び、地域に密着した産業の振興を図り、調和のとれた魅力ある町づくりを進めてゆきます。

### 農業の振興

安定した農業経営の確保を図るため、今後も農業経営の合理化、近代化をすすめると共に、ライスセンター等の集团的営農組合の適

昭和五十三年度を初年度として昭和五十五年度を最終年度とする第五次総合三カ年計画が策定されました。

この計画は、「明るく、住みよい豊かな町づくり」を目標に、住民生活優先の町政を基調とし策定されたものです。今後、三年間の町の各種施策の指針となるものです。

正配置を促し、受委託作業の推進を図って行きます。

また、村ぐるみ農業を積極的に推進し農村環境整備と安定した農業経営の確保につとめます。

一方、兼業農家の育成にも努め自立経営農家と兼業農家の所得格差の是正を図るため、地域の環境を保ちながら公害のない企業導入を推進し雇用機械の拡大、所得の増大を図り、生活の安定につとめます。

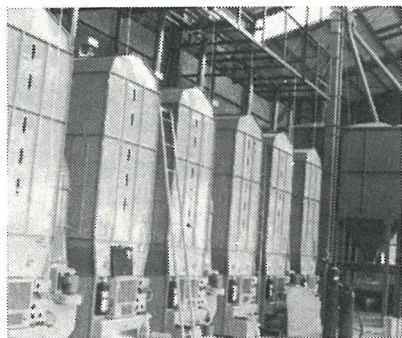
主な事業は、次のとおりです。

#### ●農業基盤整備

水田利用再編対策を契機に、農業用排水施設の整備や暗きよ排水事業等を計画的に実施し、農用地の高度利用を推進してゆきます。

#### ●稲作集団機械化事業

個人的な設備投資を極力抑制し農業経営の合理化、近代化を推進するためライスセンターの建設を推進します。



▲機械化により省力化が進むライスセンター（虫生）

#### ●地力培養対策事業

成田新東京国際空港の開港に伴い野菜園芸作物の需要は更に増大することが予測され、これに伴い産地間の競争も一層はげしくなるものと思われます。

これらのために、土づくり、作付指導に力を入れ品質の向上を図ります。

#### 畜産の振興

畜産は、食生活の改善に伴いその需要は増大する一方です。

飼養規模も年々拡大され企業化経営へと移った反面、悪臭ふん尿等の畜産公害が問題となつています。

これらのことから、公害対策にも力を入れ、施設の改修、野菜生産農家等との提携によりふん尿の土地還元を推進し、畜産環境の保全につとめます。

また、経営の安定を図るため、さらに飼育頭数の拡大を図るとともに、優良品種の導入により品質の向上につとめます。

#### ●優良豚導入事業

優良純粋種豚、種牡豚導入事業を通して種豚の改良と肉質の向上を図り、優良豚の生産を行います。

また、飼料の自給もあわせて推進します。

# 明るく住みよ

## 力 3 総合 5 才

### ●畜産環境保全事業

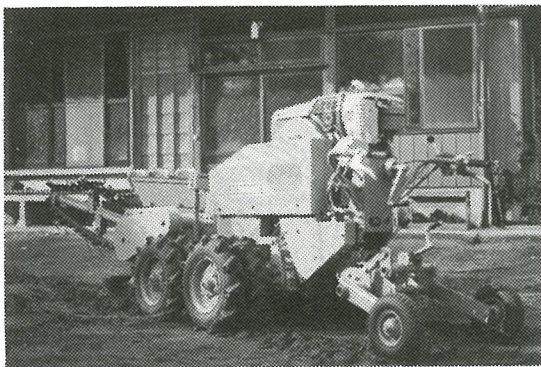
飼養規模の増大により悪臭、ふん尿等の畜産公害をなくすため、施設の改修、野菜生産農家等との提携によりふん尿の土地還元を推進し、畜産環境の保全につとめます。



▶畜産公害対策の一環として導入されたバキュームカー

### 商業の振興

本町は、商店街が形成されておらず、横芝町へ四五%、八日市場市



▶トレンチャー

### 工業の振興

当町の産業就業構造は、昭和四十年では農業が全体の七〇%を占めていたが、昭和五十年では五〇%と大きく減少を示しています。これは高度経済成長の影響はいうまでもありませんが、生活様式の高度化あるいは、農作業の機械化に伴い労働力の省力化が進み他産業就業へと流出したためと思われます。このような状況から住民の雇用機会の拡大と所得水準の向上を図るため、公害のない内陸型企業を厳選し、地域の環境をかみしながら企業導入を推進します。

### 人口の見通し

当町の人口は、昭和四十年以降四十五年に一時的減少したもののほぼ平行線をたどってきたが、昭和四十五年と比較し昭和五十年には三、二%と増加しています。今後も、成田新東京国際空港の開港、九十九里海岸地域の観光開発、民間宅地開発等により、人口の流入も考えられるので徐々に増加して行くものと思われます。

### 住民参加の施策を

昭和四十一年に第一次計画を策定以来、第四次計画まで計画どおりの執行をみることでできたことは、町民各位をはじめ関係諸機関のご協力によるものと感謝申し上げます。

今後は、これらの問題を的確に把握し、対処して行くとともに、従来の計画の見直しを図りながら住民参加による幅広い施策を行い安定成長時代にみあった事業を推進し、これらの計画実現についても樂觀を許さない状況であります。皆さんをはじめ関係機関のご協力を得て、住みよい光町を築くため努力する決意であります。



### 観光の振興

当町の観光資源は、夏期の九十九里海水浴場、四季を通じての栗山川の釣り、虫生の鬼来迎、成田山御本尊上陸記念碑などがある程度ですが、国際空港の開港に伴い当町を訪れる観光客も増加すると

### 光 町 の 人 口

(単位：人・%)

| 年 度        | 昭和40年  | 昭和45年  | 昭和50年  | 昭和55年  |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 区 分        |        |        |        |        |
| 人 口        | 11,220 | 11,042 | 11,392 | 11,755 |
| 対前期増加率     | △ 6.6  | △ 8.1  | 3.2    | 3.2    |
| 対 40 年 比 率 | 0      | △ 8.1  | 1.5    | 4.8    |

## 二、社会福祉の拡充と

### 生活環境の整備

「光町に住んでいる誰れもが幸せて快適な生活を送れる。」を目標に福祉の充実と生活環境の整備は、施策の中心課題であり今日まで積極的に推進してきました。

本計画でも町独自の種々の施策を計画するとともに、住民参加による幅広い運動を展開し、明るく住みよい町づくりを推進します。主な事業は次のとおりです。

## 社会福祉の充実

### ●老人福祉対策

老人に生きがいのある生活環境作りを中心に、老人クラブ活動の強化、老人スポーツの普及、家庭奉仕員による奉仕活動の強化等、相互扶助の精神による「心の福祉」を目標に強化を推進します。

### ●保育所児童措置費

#### 助成事業

保育料の負担についての高・低の格差を是正するため保育料徴収の限度額を改定し、高額負担者の軽減を図ります。(最高三歳児未満一人一万九千円、三歳児以上一万三千円にする。)



### ●障害児保育事業

程度の軽い心身障害のある幼児を保育所に入所させて一般幼児とともに適切な指導を行い。心身とも健全な成長の育成を推進します。

### ●児童遊園地設置事業

子供の健全な遊び場の不足に対処するため満足できる遊園地の設置を年一カ所程度、用地確保のできる部落に設置してゆきます。

### ●心身障害者福祉対策

心身障害者のしあわせのために介護手当の支給、医療費の無料化奉仕員の派遣、年金加入の促進等を図るとともに、障害者独自の組織作りの指導を行い、積極的な活動を促し「生きがいのある生活」を推進します。

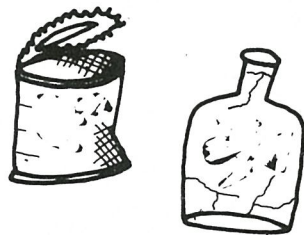
### ●低所得者援護対策

生活に困っている人のしあわせのために、民生委員、母子福祉推進員との連絡を密にし、調査指導

## 生活環境の整備

### ●ゴミ処理施設の整備

日常生活から排出されるゴミ等は現在、八日市場市他三町環境衛生組合で計画収集されているが、収集日時の関係や、事前持込み等により収集場所の汚れが問題となつていたので五十三年度に十カ所その後逐次整備を進めてゆきます。



### ●し尿処理施設の充実

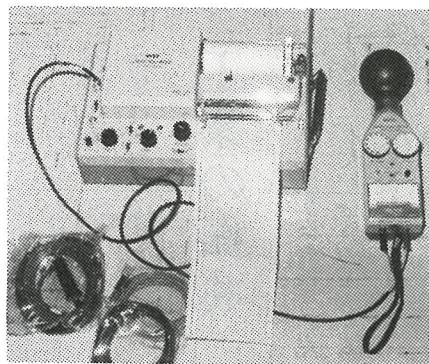
当町には、東総衛生組合の分場があることから、し尿の処理はスムーズにされている。しかし一方では家庭用浄化槽の急激な普及等から排水先、設置後の管理から問題もでてきているので、事前協議と維持管理についての指導強化を進めてゆきます。

### ●公害防止対策

当町においても、地盤沈下、騒音、悪臭、水質汚濁、畜産公害等が年々増加しています。

これら公害に対処するため、五十三年度から地盤沈下監視のための水準点の増設や水質、騒音、震動等の調査、また各公害対策協議会等の強化を積極的に推進し、住みよい町づくりを目指します。

成田空港の開港による騒音問題についても、周辺市町村と十分連携を取り合つてゆきます。



▶ 騒音測定器

### ●上水道事業の推進

水は日常生活に最も欠くことのできない大切なものであることから、住民の健康を保全し、公衆衛生の向上を図るため、上部地区についても加入促進を強力に推進し、早期給水に努めます。給水工事計画の期間内に加入される方は、町から給水申込金の四十四%が(口径二十五ミリメートルまで)補助されます。

## 保健衛生対策

現在、各種の予防接種を始め、住民検診を定期的に実施していますが、さらに五十三年度から新規事業として、乳幼児の一歳六カ月検診を実施します。

また、特に胃がん、脳卒中、循環器系の疾患が県平均より多いので、これらの予防、早期発見を重点的に推進します。

### ●母子保健活動

本事業は、推進員活動を強化し母子手帳の早期交付や妊娠中の育児不安をなくすため、早期検診の指導をしてゆきます。五十二年度より実施された全妊婦に対する牛乳の無料配布も引き続き行い妊娠時期の栄養摂取の重要性を指導するとともに、子供の虫歯予防の認識を高める等、母と子の健

康強化を推進します。

### ●保健婦活動の強化

本事業は、従来国保施設活動で行ってきたが、五十三年度より全町民を対象に一般衛生行政サ

イドで活動することになります。

これは、近い将来町民の健康を集中管理しようとする考えに基づくものであり、健康センターの建設も将来考えています。

## 三、教育文化の振興

豊かで魅力ある町づくりを進めるには、その担い手となる人材を育成することが肝要である。ということから当町では早くから教育の充実を重点施策として力を入れてきました。その中でも義務教育施設（校舎を除く）や教育機器の整備はほぼ終了し、高度な教育が行われています。

開港に伴う航空機騒音問題、財源問題等をにらみ合わせ積極的な姿勢で取組んで行きます。

また、一般住民教育については公民館、協同館、青年館等の既存施設の整備を図りながらこれらの施設を活用した社会教育の充実を図ります。

今後は、教育内容の充実に一層努めるとともに、老朽校舎の新築が課題とされるが、成田空港の主な事業は次のとおりです。

### ●小学校改築事業

校舎の老朽度・危険度の著しい学校を優先に、昭和五十五年度を目途に一校の改築を計画しています。

### ●給食センター

#### 建設事業

各学校の施設の老朽化による衛生問題、改築問題等から、米飯給食を中心とした給食センターの建設を行います。（五十三年度）

睦の場を確保するため計画期間中に二館の建設をします。

### ●町史編さん事業

郷土の過去を探り、失なわれつ

## 四、公共施設の整備

第四次計画においても生活関連道路の整備を重点に実施してきましたが、部落内道路の未舗装も多いので、引き続き道路舗装を重点に実施します。また、排水整備も併せて推進します。

一方、公民館、協同館、青年館等の既存施設についても設備内容の充実を図ります。

教育の振興と関連があります町民体育館、給食センターの建設も行います。

主な事業は次のとおりです。

### ●町道舗装事業

五十三年度舗装延長

七、二一五 m

五十四年度舗装延長

五、二六〇 m

五十五年度舗装延長

六、八〇〇 m

合計 一万九千二百七十五 m

### ●農道舗装事業

昭和五十四年度舗装延長

二、二〇〇 m

つある文化の保存と愛郷心を育てるため町史編さんを行います。

（完成予定 昭和五十七年度）

## 消防施設の整備

### 整備

昭和五十三年度から可搬ポンプについては、ポンプの状態を勘案しながら全額町負担により適正配備することになりました。（専用積載車については、従来どおり）

一方、水利施設は水道事業に関連し全地域に消火栓を設置する計画ですので、防火水槽の無駄な設置をさけ特殊地域について必要がある場合四〇㎡級を設置することになりました。

### ●消防施設整備事業

昭和五十三年度

ポンプ付積載車 二台

専用積載車 一台

昭和五十四年度

ポンプ付積載車 三台

防火水槽 一基

昭和五十五年

ポンプ付積載車 三台

防火水槽 一基

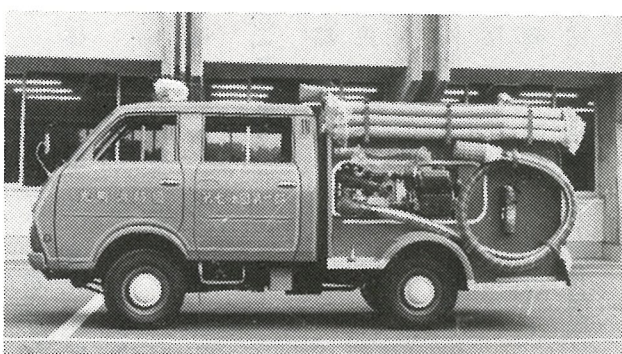
### ●消火栓設置事業

消火栓の設置は、上水道事業と平行して行われるものであり、設置場所については、既存水利施設を十分考慮し適正配置をします。全体で一三二基を計画しています。

## 交通安全

### 施設整備

増大する交通事故に対処するため、事故の多発箇所を中心に、カーブミラー、ガードレール、交通標識等の設置を行うとともに、交通安全協会とタイアップし、街頭指導の強化を図りながら地域ぐるみの運動を展開し交通事故の撲滅を図って行きます。



▶ ポンプ付積載車

# 五十二年度農業賞決まる

昭和五十二年度光町農業賞の表彰が三月十日行われました。

受賞者は、若い農業後継者で、特に農業経営方法の改良、導入等により生産性向上を目指した方が受賞されました。

## 受賞者の横顔



林 一男 (小川台)

水田一七〇アール、畑六五アール、酪農経営、搾乳牛三五頭、育



椎名 文雄 (木戸)

成牛一〇頭を飼育し、その技術は高く評価されている。  
旭農業高校卒

水田一四〇アール、畑一一〇アール、バンタム四〇アール、いんげん一〇アール、肉豚二〇〇頭を飼育し、現在継友会役員とし活躍中である。  
旭農業高校卒

## 電気の豆知識

電気器具は毎日の生活に欠かせないものになっていますが、正しい知識で上手に使用すれば、様子を十分に発揮して効率よく、しかも節電にもつながります。

- 電気器具の上手な使い方
- 一、取扱説明書を良く読んで、正しい扱い方を覚えておく。
- 二、器具に異状があったらすぐに点検修理する。
- 三、器具の置き場所に注意し、ふだんの手入れを良くする。
- 四、洗濯や、掃除は、短時間に済ませるよう手順をきめて行う。
- 五、使用しない器具は、必ずコンセントからはずしておく。

## 仕事の出来る喜び



## 読者のコーナー

光町に嫁ぎ二十回目の春を迎えました。  
姑のいない家庭に嫁いだ私は、わずかな田畑を耕し二人の子供を育てるには、苦難との

尾垂 伊藤 ハル子  
戦いでした。

近所の同年のお嫁さんは、朝早くからマイクで東西へと仕事に出かけます。一度でいいから私とも思ったものです。

今やっと思つたら、もう四〇歳に手が届こうとしています。

でも何か自分に向いた仕事はと考えると、保育園を訪れて見ました。園では温かく迎えてくれました。今では送迎バスの運転をしています。

広報係では、みなさんからの投稿を、お待ちしております。

朝夕の仕事ですので、日中は家庭の仕事が出来一石二鳥です。朝精一杯の笑顔で、子供達を乗せ、夕方さようならと、お母さんの手に、渡し終るとほっと胸をなでおろします。

## ◎お誕生

三月十五日現在受付(敬称略)

〈部落・赤ちゃん・父親・続柄〉

(富下) 布施範子 貞夫 長女

(橋場) 椎名智彦 文彦 二男

(二又) 大木 泰 直 長男

(橋場) 土屋友美 文俊 長女

〃 鶴沢 健 通敏 長男

## 慶 弔

## 調理士試験が開かれます

試験日

五月二十六日

試験場所

八日市場市民館

願書受付及び場所

四月二十四日より二十六日まで、

八日市場保健所で受付ます。

## 光町交通事故発生状況 (3月31日現在)

|     |   |
|-----|---|
| 件数  | 5 |
| 死者  | 0 |
| 負傷者 | 7 |

## ◎結婚

〈部落・氏 名〉

(長塚) 鈴木範康―島崎雅江

(白磯) 川島 薫―平山福枝

(作間内) 花澤信幸―向後徳子

(尾垂) 山崎悦男―伊藤初江

(篠本) 関川利央―八角亮子

(尾垂) 伊藤 実―伊藤静代

## ◎おくやみ

〈部落・氏 名・性別・年令〉

(篠本) 増島弥太郎 男 84歳

(木戸) 市田 慎治 男 71歳

(長塚) 実川 満つ 女 80歳

(橋場) 大木幸三郎 男 84歳

(篠本) 宇井 とく 女 81歳

(古屋) 堀 精一 男 74歳

(白磯) 張 孝源 男 56歳

## 町の状況

〈3月1日現在〉

|    |                |
|----|----------------|
| 人口 | 男 5,748人 (-7)  |
|    | 女 5,929人 (+1)  |
|    | 計 11,677人 (-6) |
| 世帯 | 2,797 (-3)     |
|    | ( ) 内は前月比      |